

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
3-⑥	交通の利便性を高める	福祉部、まちづくり政策部、土木部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	実績値				5年度 目標値	推計値に よる評価
		改訂計画 策定時	2年度	3年度	4年度		
路線バスの乗り継ぎ 環境の整備進捗率	%	47	65	67	67	88	未達成
幹線道路のボトルネ ック交差点の改良進 捗率	%	17	17	22	41	80	未達成

関連事業				
○住民主体地域内移送推進事業○バス利用促進事業○南北都市軸への新しい公共交通導入事業 ○幹線道路整備事業○街路整備事業				
決算額				
	2年度	3年度	4年度	5年度
事業費（千円）	50,663	266,146	114,752	
執行率（%）	70.29	93.71	96.44	

施策の推進に向けた主な取組の「成果」
<ul style="list-style-type: none"> バス停の待合環境やサイクル&バスライドについて、関係機関と協議を行い、整備をする とともに、南北都市軸に新しい公共交通導入に向けて、バス事業者と連携し、関係機関と 協議を進めました。また、環境共生都市であるツインシティ大神地区に相応しい電気バス の導入を促進するため、バス事業者に対する補助制度を新設しました 歩道設置や交差点改良の工事などを継続して進めたことで、交通の円滑化と歩行者の安全 性の向上を図りました。 地域住民による地域内での移送支援の取組を支援し、高齢者や障がい者などの自力での移 動が困難な方の外出機会の拡大を図りました。

施策を推進する上での「主な課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

・路線バスなどの公共交通の利便性向上を促進するとともに、ツインシティ大神地区における今後のまちづくりの進捗に合わせ、一定の時間に大量輸送が必要な需要が生じた際には、連節バスの導入を視野に関係機関と調整を図る必要があります。また、大型商業施設開業後の交通状況を注視し、国道129号への公共交通優先信号の導入も検討する必要があります。

⇒バス停の待合環境やサイクル&バスライドの整備について、バス事業者と連携して取り組むとともに、まちづくりの進捗を踏まえ、需要に応じた連節バスの導入や公共交通優先信号の設置について、バス事業者、道路管理者及び交通管理者と協議します。

・幹線道路や周辺道路などの交通混雑の緩和や住環境の向上を図る必要があります。

⇒幹線道路の交差点や歩道の整備に向けた用地買収や物件移転補償などを計画的に取り組み、交通の円滑化と歩行者の安全を促します。

・市内で公共交通が利用しにくい地域において、地域住民による移送支援の取組をさらに促進する必要があります。

⇒地域での取組を引き続き支援していくとともに、地域共生社会の実現に向けて、地域での支え合いの重要性を広く周知啓発し、地域福祉の充実を図ります。